

平成 29 年度 定期総会



東京都市大学 校友会

平成 29 年 6 月 17 日 (土)

世田谷キャンパス 21C 教室

平成29年度 定期総会

日時： 平成29年6月17日(土) 13:00

審議事項:

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1)平成28年度事業報告 | 資料1 |
| 2)平成28年度収支決算報告及び監査報告 | 資料2-1, 2-2, 2-3 |
| 3)地方支部の区分変更とそれに伴う会則の改正について | 資料3 |
| 4)その他 | |

報告事項:

- | | |
|----------------------------|-----|
| 1)平成29年度事業計画 | 資料4 |
| 2)平成29年度収支予算 | 資料5 |
| 3)維持会費について | 資料6 |
| 4)ICTによるコミュニケーション基盤の導入について | 資料7 |
| 5)校友会進路相談会実施報告 | 資料8 |
| 6)その他 | |

- | | |
|---------------|-----|
| * 功労者表彰及び受賞慶祝 | 資料9 |
|---------------|-----|

平成 28 年度 事業 報告

東京都市大学 校友会

事業内容	
1. 会報の発行	<ul style="list-style-type: none"> 校友会会報(都市)第4号を平成29年3月19日に発行し、学位授与式当日に新正会員に配布、4月中旬に正会員に郵送した。また、在校生(準会員)へもオリエンテーション時に配付した。
2. 幹事会、常任幹事会・各委員会及び各付置部会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 幹事会⇒ ○平成28年4月23日(土)に開催し、平成27年度事業報告書、平成27年度収支報告書及び監査報告書、平成28年度事業計画書案、平成28年度収支予算書案、会則・細則改正案を承認した。 ○平成29年3月18日(土)に開催し、平成28年度事業報告書、平成28年度(仮)収支決算書及び(仮)同貸借対照表(仮)、平成29年度事業計画書案、平成29年度予算書案、会則の一部変更案を承認した。(平成28年度収支決算書及び貸借対照表は、メール審議にて、平成29年5月18日承認。) 常任幹事会⇒ 平成28年4月から平成29年3月まで11回開催し、必要事項の審議・承認を行った。 各委員会(総務、企画、財務、広報、支部、学生支援)及び各付置部会⇒ 平成28年4月から平成29年3月まで、全委員会及び全付置部会合計64回開催した。
3. 総会、懇親会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 定期総会及び懇親会を平成28年6月18日(土)世田谷キャンパスにおいて開催した。 総会では、平成27年度事業報告、平成28年度事業計画案、平成27年度収支決算報告及び監査報告、平成28年度収支予算案、会則・細則の改正案を承認した。なお、総会后、山崎直子氏の講演会を開催した。
4. 「校友会のあり方検討会」を会長諮問機関として継続	<ul style="list-style-type: none"> 総務委員会内に「校友会のあり方検討会」ワーキングを組織して企画し、9月24日(土)に検討会を実施した。「校友会における学科同窓会の活動、各種支援のあり方、校友会運営財源の確保」について活発な討議を行った。
5. IT活用による「コミュニケーション情報システム」の導入	<ul style="list-style-type: none"> 会員名簿システムについて、大学の費用負担でシステム導入とデータ管理を大学が行い、校友会が連携活用することで合意し、平成28年度は、両者の協議により業者選定を行った。
6. 会員相互の親睦、交流	<ul style="list-style-type: none"> ・賀詞交歓会 平成29年1月23日(月)に世田谷キャンパス ラウンジオークで、96名の参加により開催した。 ・親睦会 <ul style="list-style-type: none"> <親睦ゴルフ大会> 平成28年9月20日(火)に開催を予定していたが、台風16号の接近のため中止となった。 <世界遺産・富岡製糸場バスツアー> 平成28年10月15日(土)に36名の参加により、世界遺産・富岡製糸場バスツアーを実施した。 ・夢キャンパスセミナー(第2回)の開催 平成28年11月27日(日)に「二子玉川夢キャンパス」において、「震災後のサポートとまちづくり 一福島県いわき市久之浜・大久保地区との実践でのこれから」をテーマとして、建築学科卒業生(H12年)の栗田祥弘氏並びに、いわき市「ふるさとだより」記者の鈴木伴栄氏から支援活動の紹介があった。 ・大学/校友会主催(せたがやeカレッジ後援、如学会協力)の「講演会」開催 「軍艦島をかほる」をメインテーマに、全3回の開催(夢キャンパス)を予定。講師は、濱本卓司名誉教授並びに建築学科卒業生(S38年)の中村陽一氏。第1回を3月25日(土)に行い、105名が受講した。
7. 各学科同窓会への支援	<ul style="list-style-type: none"> 以下について支援費を配分した。 <ol style="list-style-type: none"> ①一律支援 → (8学科) 各150,000円 (6学科)各100,000円 ②会報発行支援 → 3学科 ③大学の名を高める事業支援 → 1学科 ④新学科同窓会活動支援 → 1学科 ⑤特別支援 → 新美砂会(旧武蔵工業会と旧美砂会の地方支部統合推進費用) ⑥学科研究会との連携事業支援 → 3学科 ⑦就職活動支援事業 → 4学科
8. 支部の機能強化・連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・大学との連携強化(地域の高校、保護者)⇒ 地方での保護者会に合わせて、支部総会を実施した。…2支部 支部総会での講演会に大学と連携して地域の高校にも案内し、高校生の参加があった。…1支部 ・地方支部のネットワーク強化(旧武蔵工業会・旧美砂会の統合推進継続) ⇒ 地方支部立ち上げ(宮崎、石川) 統合推進は継続中。 支部総会への他支部から参加交流及び支部の親睦会への他支部からの参加交流推奨 ・地方支部へ活動内容に合わせた助成金の給付を行った。 <ol style="list-style-type: none"> ①支部総会助成(総会実施支部) → 35支部 ②親睦行事助成 → 各種親睦行事開催支部 → 26支部 ③支部発足準備支援 → 2支部 ④役員会開催助成(一律支援) → 39支部(休眠支部を除く) ・現役学生の就職活動支援、母校受験者への大学紹介について支部総会出席の際、本部から卒業生へ依頼を行った。 ・大学と後援会主催の「大学と保護者との連絡会」(地方開催)へ地方支部からの出席 → 各地方支部に出席を依頼、Uターン就職等の助言、支部現況等を紹介した。(支部からの出席16会場、22名)

9. 体育系クラブ及び文化系クラブ同窓会との連携強化
・クラブ同窓会、学園祭実行委員会同窓会等に本部から出席し、交流を図った。
10. 在校生への支援
・大学が企画した①海外インターンシップ ②毎日学べる英会話 ③インターナショナルラウンジ ④TOEIC検定料 ⑤朝活100円朝食に助成した。
・海外研修支援会への支援 海外で研修する学生に対して費用を貸与している東京都市大学海外研修支援会へ助成した。(平成27年度から4年間各150万円)
・技術士第1次合格者へ受験料を助成
11. 在校生への就職活動支援(校友会プロジェクト)
・校友会として初めての「進路相談会」を1月18日(水)に開催し、企業35社(67名)、学生113名が参加した。
・卒業生の紹介による海外インターンシップを大学と連携して実施した。(3社へ6名派遣)
・海外インターンシップの受け入れについて大学と連携して支援を行った。(5名)
12. ホームカミングデーの共催
・校友会及び大学教職員による実行委員会で協議のうえ、キャンパス毎のホームカミングデーを実施した。 参加状況は以下のとおりであった。 平成28年 6月11日(土)横浜キャンパス (出席者:卒業生48名、お迎え側39名) 平成28年10月30日(日)世田谷キャンパス (出席者:卒業生285名、お迎え側84名) 平成28年10月30日(日)等々力キャンパス (出席者:卒業生70名、お迎え側41名)
13. キャンパス毎の学園祭に参加
・世田谷祭において会員向け休憩場所として「ラウンジ」を設置した。
14. 各種支援のための寄付・協賛金の仕組み構築
・今後の校友会活動を充実させるため、寄付([維持会費]1口2千円)の納入依頼の趣意書を作成し、会報「都市」第4号発送時(平成29年4月)に振込書とともに同封することを決定した。
15. 学位授与式関係
<校友会賞授与> 学業優秀で、将来社会での活躍が期待される者を対象に各学科又は専攻毎に各1名計18名に対して校友会賞を授与した。
<学位記ホルダー贈呈> 平成28年度卒業生全員に学位記ホルダーを贈呈した。
<ガーデンパーティ実施> 新規卒業生歓迎行事として大学と共催で学位授与式後にガーデンパーティを行なった。
16. 東京都市大学校友会館・自由が丘クラブ(旧武蔵工業会館)の活用と運営
・校友会との協業による会館の有効活用と運営及び利便性向上による有効活用の増大⇒ 校友会側から会館の役員として着任し、会館運営に参画することにより一体化を図った。また、校友会から、年間で定額支払いを行なうことによって、校友会員が会議室を利用する場合、使用料が無償となり、それにより、同窓会活動が活性化が期待できる。
・会館リニューアル費用の融資を行なった。
17. 功労者表彰等
・「校友会表彰規程」及び「校友会表彰基準」に基づき、支部運営に尽力した支部長退任者8名を功労者として定期総会において表彰した。また、叙勲受章者2名(うち1名は支部総会において)にお祝い金を贈呈した。

東京都市大学 校友会

平成28年度 収支決算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	増減
【事業活動収入】			
会費収入	87,360,000	81,177,550	-6,182,450
・ 終身会費収入	85,410,000	79,945,000	-5,465,000
・ 定例会費収入	1,950,000	1,232,550	-717,450
定期総会懇親会会費収入	800,000	472,000	-328,000
賀詞交歓会会費収入	150,000	150,000	0
その他収入	1,000,000	610,550	-389,450
その他収入	2,100,000	2,162,607	62,607
・ 祝金	100,000	100,000	0
・ 配送費立替他	2,000,000	2,062,607	62,607
前期末未収入金収入	0	17,070,000	17,070,000
期末未収入金(-)	0	-22,945,000	-22,945,000
預り金収入	0	219,228	219,228
貸付金返済収入	0	132,000	132,000
事業活動収入計	89,460,000	77,816,385	-11,643,615
【事業活動支出】			
事業費支出	50,865,000	43,450,056	-7,414,944
・ 正会員向事業支出	30,030,000	27,346,694	-2,683,306
総会懇親会費支出	1,730,000	1,787,243	57,243
会報関連支出	7,300,000	6,884,400	-415,600
学科同窓会・支部支援費支出	17,300,000	15,689,588	-1,610,412
キャンパス支援費支出	2,000,000	2,000,000	0
賀詞交歓会費支出	1,000,000	594,683	-405,317
親睦行事費支出	700,000	390,780	-309,220
・ 学生支援事業費支出	17,335,000	12,730,625	-4,604,375
在学生支援費支出	14,765,000	10,452,545	-4,312,455
卒業支援費支出	2,570,000	2,278,080	-291,920
・ 大学事業支援事業費支出	3,500,000	3,372,737	-127,263
ホームカミングデー費支出	3,500,000	3,372,737	-127,263
管理費支出	32,418,936	22,499,895	-9,919,041
人件費支出	11,430,000	11,329,840	-100,160
備品費支出	200,000	0	-200,000
事務関連費支出	2,888,936	2,943,918	54,982
会議費	4,000,000	3,524,087	-475,913
システム管理費等支出	6,200,000	191,802	-6,008,198
雑費	4,700,000	4,510,248	-189,752
予備費	3,000,000	0	-3,000,000
預り金支出	0	180,484	180,484
周年積立金支出	5,000,000	5,000,000	0
会館貸付金支出	12,600,000	12,600,000	0
事業活動支出計	88,283,936	83,730,435	-4,553,501
当期収支差額	1,176,064	-5,914,050	-7,090,114
前期繰越収支差額	179,503,478	169,503,478	-10,000,000
次期繰越収支差額	180,679,542	163,589,428	-17,090,114

東京都市大学 校友会
平成28年度 貸借対照表
平成29年3月31日

資料 2-2

(単位:円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		流動負債	
現金預金	163,589,428	預り金	219,228
未収入金	22,945,000	流動負債合計	219,228
短期貸付金	784,000	負債合計	219,228
流動資産合計	187,318,428	III 正味財産の部	
2 固定資産		正味財産	380,576,952
投資有価証券	150,633,752	正味財産合計	380,576,952
関連会社株式	15,070,000		
長期貸付金	12,774,000		
周年積立金	15,000,000		
固定資産合計	193,477,752		
資産合計	380,796,180	負債及び正味財産合計	380,796,180

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

1) 有価証券の評価基準及び評価方法

・子会社株式及び関連会社株式は、移動平均法による原価法によっております。
・満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券で時価のあるものは、移動平均法による時価法によっております。

2) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

貸付金等の貸倒損失に備えるため、特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。なお、当事業年度においては貸倒引当金は計上しておりません。

3) リース取引の会計処理

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2 重要な会計方針の変更

当期から、東京都市大学 校友会 会計基準を採用しております。

この変更は、東京都市大学 校友会の、より明確な財務報告等のために行うものであります。なお、この変更に伴い、収支計算書の当期収支差額は38,744円増加しております。また、これに伴い、過年度の取引に係る遡及修正はしておりません。

3 収支計算書に対する注記

1) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金を含めております。

2) 終身会費収入

収支計算書に計上した決算額79,945,000円の内容は以下の通りであります。

(単位:円)

内容	計算内容	対応する科目	決算額
①:平成27年10月から平成28年3月末までに代理徴収された会費のうち、当期首時点で未入金で6月に入金された金額	前事業年度の帰属分のため算入しない	前期末未収入金収入	17,070,000
②:平成28年4月から平成29年3月末までに代理徴収された会費で、当事業年度中に入金された金額	当事業年度分に加算する	現金預金	57,000,000
③:平成28年10月から平成29年3月末までに代理徴収された会費のうち、期末時点で未入金の分に対する見積り金額	当事業年度分に加算する	期末未収入金	22,945,000
②+③:当事業年度に帰属する金額			79,945,000

なお、当事業年度中に入金された金額は上の①+②の、74,070,000円であります。

3) 雑費

主な内訳は以下の通りであります。

(単位:円)

内訳	予算額	決算額	増減
脚武蔵工業会館 平成28年度 優先利用料	2,500,000	2,500,000	0
平成28年度 代理徴収手数料	1,370,000	1,094,850	-275,150
平成28年度 会計監査 監査報酬	450,000	450,000	0
その他	380,000	465,398	85,398
計	4,700,000	4,510,248	-189,752

4) 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

資産及び負債の内訳	前期末残高	当期末残高
現金預金	169,503,478	163,589,428
合計	169,503,478	163,589,428
次期繰越収支差額	169,503,478	163,589,428

4 貸借対照表に対する注記

1) 未収入金

前年度中に代理徴収された会費のうち、期末時点で未入金の分に対する見積り金額であります。

2) 貸付金

相手先は以下の通りであります。

(単位:円)

相手先	一年以内返済予定分	次期以降返済予定分
卒業生(緊急奨学金)2名	364,000	594,000
東京都市大学校友会館 自由が丘クラブ	420,000	12,180,000
計	784,000	12,774,000

3) 投資有価証券

全て日本国債であり、内訳は長期国債(10年利付債)及び中期国債(5年利付債)であります。

4) 関連会社株式

全て株式会社武蔵工業会館の普通株式であります。

5 その他

1) 保証債務等の偶発債務
該当事項はありません。

2) 重要な後発事象
該当事項はありません。

監査報告書

会則第 13 条第 2 項の定めに基づき、平成 28 年度 (H28. 4. 1~H29. 3. 31) における会務について、監査を実施しましたので、下記の通り報告いたします。

記

監査結果について

1. 平成 28 年度の事業活動は、「平成 28 年度事業報告書」に記載の通り、適正かつ円滑に進められたことが認められる。
2. 平成 28 年度の財務状況は、「平成 28 年度収支決算書」に記載の通り、適正に処理されていることが認められる。

以上

平成 29 年 4 月 19 日

東京都市大学 校友会

監査役 山田 秋夫 

監査役 水谷 茂喜 

平成29年3月18日

支部委員長(副会長) 松村慶一

地方支部の地区区分変更とそれに係る会則の改正について

標記の件、平成29年3月16日の常任幹事会で地方支部の区分変更とそれに係わる会則改正について、幹事会及び総会に上程することを決議いたしましたので、ご審議いただきたくお願い致します。

1. 地方支部の地区区分の変更と事由

1-1 変更内容

《現行》

地区	支部
北海道東北	北海道、青森、(岩手)、宮城、秋田、山形、福島
関東甲信越	(群馬)、栃木、茨城、埼玉、千葉、湘南、川崎、横浜、山梨、新潟、長野
中部	東海、静岡、富山、石川、(福井)
関西	大阪奈良、京滋、兵庫、和歌山
中国四国	岡山、広島、山口、鳥取、島根、徳島、香川、愛媛、高知
九州沖縄	福岡、佐賀、長崎、大分、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄

《変更案》

地区	支部
北海道東北	北海道、青森、(岩手)、宮城、秋田、山形、福島
関東甲信越	(群馬)、栃木、茨城、埼玉、千葉、湘南、川崎、横浜、山梨、新潟、長野
中部	東海、静岡
北陸	富山、石川、(福井)
関西	大阪奈良、京滋、兵庫、和歌山
中国四国	岡山、広島、山口、鳥取、島根、徳島、香川、愛媛、高知
九州沖縄	福岡、佐賀、長崎、大分、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄

* 支部名中 (かっこ)は休眠中

1-2 変更事由

地区活動が活発になる中、中部地区内の支部である東海・静岡と富山・石川とは距離、交通機関、地域的などの事由から、地区支部長会議を含む支部相互の活動の取り組みが円滑に進まない課題を抱えていた。中部地区代表者からの地区区分変更の申し出により、支部委員会で協議した結果、中部地区を中部地区と北陸地区に分けることを決議した。さらに今後 福井支部の立上げが予定されており、地区代表者および近隣支部の協力が欠かせない。なお、すでに北陸地区代表者には、富山支部長が内諾されている。

2. 会則の変更

地区区分の変更に伴い以下の会則改正を行ないたい。

《現行》

(幹事) 第12条 幹事は次の区分から選出する。 (2)北海道東北、関東甲信越、中部、関西、中国四国、九州沖縄地区の各代表支部長1名
--

《変更案》

(幹事) 第12条 幹事は次の区分から選出する。 (2)北海道東北、関東甲信越、中部、北陸、関西、中国四国、九州沖縄地区の各代表支部長1名

平成 29 年度 事業 計画

東京都市大学 校友会

A. 組織 運営

① 総会・幹事会・常任幹事会・各委員会・付置部会・「ワーキング検討会」の実施
② 「校友会のあり方検討会」を会長諮問機関として継続実施
③ 「年間実施スケジュール」の提示・情報共有・実施
④ 「寄付金募集」の運用開始

B. 広報 活動

① ICTによるコミュニケーション基盤の導入と活用
② 「校友会ホームページ」の活用・普及推進
③ 校友会会報「都市」第5号の発行

C. 会員 交流

1. 校友会イベント

① 講演会・懇親会・賀詞交歓会等の開催
② 親睦行事・相互交流会・セミナー等の企画・開催
③ 「校友会功労者表彰」の継続実施

2. 母校行事への参画と連携

① 世田谷・横浜・等々力各キャンパス「ホームカミングデー」の共催
② 世田谷・横浜・等々力各キャンパス「学園祭」参加支援
③ 学位授与式・「校友会賞」の授与、ガーデンパーティの共催

3. 「東京都市大学校友会館・自由が丘クラブ」の運営参画

① 校友会館との協業による事業運営の実施
② 利便性向上・「利用予約システム」の有効活用
③ 取締役及び監査役担当業務の遂行

D. 同窓会活動支援

1. 地方支部活動の支援

① 地方支部への活動助成金の給付
② 就職活動支援、受験生への母校紹介支援活動強化
③ 「大学と保護者との連絡会」への参加支援
④ 大学と連携した地域の高校、企業、保護者との関係強化
⑤ 地方支部のネットワーク強化(旧武蔵工業会～旧美砂会の統合推進の継続・地区企画事業)

2. 職場支部活動の支援

① 職場支部との連携強化
② 職場支部発足応援
③ 在学生のインターンシップ企業受入れ支援

3. 学科同窓会の活動支援

① 学科同窓会活動支援

4. 体育会系、文化系クラブOB/OG会の活動支援

E. 在学生・母校支援活動

1. 在学生の支援活動

① 就職支援:「企業研究会」・「進路相談会」の実施
② インターンシップ派遣先企業の紹介・提示
③ 「学科研究会」及び「学生団体連合会」との連携・支援

2. 校友会が給付支援する事業

① 「夢に翼を奨学金」(海外インターンシップ)基金への給付
② 「語学力向上教育」への給付支援(継続)
③ 「100円朝食」給付支援(継続)
④ 「海外研修支援会」への貸与支援(継続)
⑤ 「緊急奨学金」の貸与(継続)

平成29年度 収支予算書
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：円)

科 目	平成29年度予算	平成28年度決算	増減
【事業活動収入】			
会費収入	84,559,000	81,177,550	-3,381,450
・ 終身会費収入	71,865,000	79,945,000	8,080,000
・ 定例会費収入	694,000	1,232,550	538,550
定期総会懇親会会費収入	500,000	472,000	-28,000
賀詞交歓会会費収入	150,000	150,000	0
その他収入	44,000	610,550	566,550
・ 維持会費	12,000,000	0	-12,000,000
その他収入	1,800,000	2,162,607	362,607
・ 祝金	100,000	100,000	0
・ 配送費立替他	1,700,000	2,062,607	362,607
前期末未収入金収入	0	17,070,000	17,070,000
期末未収入金(-)	0	-22,945,000	-22,945,000
預り金収入	200,000	219,228	19,228
貸付金返済収入	806,000	132,000	-674,000
事業活動収入計	87,365,000	77,816,385	-9,548,615
【事業活動支出】			
事業費支出	48,170,000	43,450,056	-4,719,944
・ 正会員向事業支出	30,900,000	27,346,694	-3,553,306
総会懇親会費支出	1,700,000	1,787,243	87,243
会報関連支出	6,200,000	6,884,400	684,400
学科同窓会・支部支援費支出	17,300,000	15,689,588	-1,610,412
キャンパス支援費支出	2,000,000	2,000,000	0
賀詞交歓会費支出	600,000	594,683	-5,317
親睦行事費支出	600,000	390,780	-209,220
会館使用料	2,500,000	0	-2,500,000
・ 学生支援事業費支出	13,970,000	12,730,625	-1,239,375
在学生支援費支出	11,500,000	10,452,545	-1,047,455
卒業支援費支出	2,470,000	2,278,080	-191,920
・ 大学事業支援事業費支出	3,300,000	3,372,737	72,737
ホームカミングデー費支出	3,300,000	3,372,737	72,737
管理費支出	27,630,000	22,499,895	-5,130,105
人件費支出	11,430,000	11,329,840	-100,160
備品費支出	0	0	0
事務関連費支出	3,000,000	2,943,918	-56,082
会議費	3,000,000	3,524,087	524,087
ICTコミュニケーション運営費支出	4,700,000	191,802	-4,508,198
雑費	2,500,000	4,510,248	2,010,248
予備費	3,000,000	0	-3,000,000
預り金支出	200,000	180,484	-19,516
周年積立金支出	5,000,000	5,000,000	0
会館貸付金支出	0	12,600,000	12,600,000
事業活動支出計	81,000,000	83,730,435	2,730,435
当期収支差額	6,365,000	-5,914,050	-12,279,050
前期繰越収支差額	163,589,428	169,503,478	5,914,050
次期繰越収支差額	169,954,428	163,589,428	-6,365,000

資料 6

維持会費納入状況<学科同窓会別>

2017.6.14現在

学科同窓会名	申込人数	2000	3000	4000	5000	6000	8000	10000	14000	20000	26000	30000	50000	100000	合計金額
機親会	152	100	3	20	2	7	1	16		1		1	1		609,000
電友会	89	52	2	15		4		12		2		2			414,000
緑土会	105	66	1	17	3	5		11	1			1			402,000
如学会	121	84	2	8		4		18		1	1	1	1	1	636,000
通友会	51	32		4	2	2		7		1		1	2		322,000
経友会	73	50	1	7	2	1		10				2			307,000
情智会	1			1											4,000
医工会	0														0
原子力友の会	0														0
さきがけ	0														0
源友会	6	5						1							20,000
楷の木会	6	6													12,000
等々力会	0														0
新美砂会	74	50	5	5	1	3		7		3					288,000
合計	678	445	14	77	10	26	1	82	1	8	1	8	4	1	3,014,000

維持会費納入状況 <地方支部別>

2017.6.14現在

地方支部名	徴収人数	2000	3000	4000	5000	6000	8000	10000	14000	20000	26000	30000	50000	100000	合計金額
北海道	10	8		2											24,000
青森	5	3				1		1							22,000
岩手	2	1						1							12,000
宮城	4	2		1				1							18,000
秋田	6	3				1		2							32,000
山形	3	2		1											8,000
福島	6	4		1					1						26,000
群馬	3	3													6,000
栃木	12	9	1			1		1							37,000
茨城	22	12		4	1			4				1			115,000
埼玉	34	25	1	2				5		1					131,000
千葉	43	31	2	6		1		2		1					138,000
湘南	51	31		8		3		7		1	1				228,000
川崎	28	23	1	2		1		1							73,000
横浜	64	39	1	8	2	3		6		2		1	2		371,000
山梨	5	3		2											14,000
新潟	15	12		2								1			62,000
長野	11	7		2	1	1									33,000
富山	4	3				1									12,000
石川	6	2		2				2							32,000
福井	1					1									6,000
東海	22	12		3				6				1			126,000
静岡	21	15		2	1	1		2							69,000
大阪・奈良	12	9	1	1				1							35,000
京滋	9	7		1				1							28,000
兵庫	10	7		1				2							38,000
和歌山	2	1						1							12,000
岡山	4	2						2							24,000
広島	11	6	1	1		1		2							45,000
山口	4	1	1	2											13,000
鳥取	4	3								1					26,000
島根	3	2		1											8,000
徳島	3	1		1				1							16,000
香川	6	2		1		1		2							34,000
愛媛	4			1				3							34,000
高知	0														0
福岡	9	4		2		1		2							42,000
佐賀	3	3													6,000
長崎	0														0
大分	2	1		1											6,000
宮崎	3	2								1					24,000
熊本	5	3		1			1								18,000
鹿児島	2	1				1									8,000
沖縄	2	1						1							12,000
合計	476	306	9	62	5	19	1	59	1	7	1	4	2	0	2,024,000
東京在住者	202	139	5	15	5	7		23		1		4	2	1	990,000

維持会費納入状況 <卒業年別>

2017. 6. 14現在

卒業年	振込人数	2000	3000	4000	5000	6000	8000	10000	14000	20000	26000	30000	50000	100000	合計金額
1937	1	1													2,000
1944	1			1											4,000
1945	1	1													2,000
1947	3	3													6,000
1948	1	1													2,000
1949	1	1													2,000
1951	3	3													6,000
1952	1	1													2,000
1953	3	2						1							14,000
1955	2		1			1									9,000
1956	4	1	1	1								1			39,000
1957	7	3		1				1	1	1					54,000
1958	13	5	1	2		3		2							59,000
1959	10	10													20,000
1960	14	11		1	1	1									37,000
1961	13	8		3				2							48,000
1962	14	7		3		1		3							62,000
1963	26	14	3	1	1	1		3		1		2			162,000
1964	33	20	1	4				6		1		1			169,000
1965	23	14		5	1			3							83,000
1966	21	15		3				2					1		112,000
1967	18	11		1				6							86,000
1968	30	19		6	1	2		1						1	189,000
1969	26	18		2	1	2		3							91,000
1970	31	24		1		1		4				1			128,000
1971	26	15		4		1		3		1		1	1		182,000
1972	29	17	1	7			1	3							103,000
1973	25	14	1	3		1		5				1			129,000
1974	14	8	1					3					2		149,000
1975	23	15		2	1	1		3		1					99,000
1976	13	8				1		3		1					72,000
1977	19	14	1	1	1			2							60,000
1978	11	5	1	2				3							51,000
1979	17	13		3		1									44,000
1980	24	15	2	2	1			3			1				105,000
1981	8	7		1											18,000
1982	12	7		2				3							52,000
1983	12	8		1				2		1					60,000
1984	19	15		1		2						1			76,000
1985	6	5		1											14,000
1986	7	5				2									22,000
1987	6	4		1		1									18,000
1988	5	2		1		1				1					34,000
1989	1			1											4,000
1990	6	5						1							20,000
1991	14	10		2		1		1							44,000
1992	6	3		1	2										20,000
1993	7	5		1				1							24,000
1994	5	4						1							18,000
1995	2	1				1									8,000

年	振込人数	2000	3000	4000	5000	6000	8000	10000	14000	20000	26000	30000	50000	100000	合計金額
1996	1	1													2,000
1997	3	2		1											8,000
1998	2	1						1							12,000
1999	5	2						3							34,000
2000	2	2													4,000
2001	2	2													4,000
2002	5	4						1							18,000
2003	1	1													2,000
2004	4	4													8,000
2005	1	1													2,000
2006	2	2													4,000
2007	1	1													2,000
2008	1	1													2,000
2009	3	2				1									10,000
2010	1			1											4,000
2011	6	6													12,000
2012	6	4						2							28,000
2013	5	3		1				1							20,000
2014	2	2													4,000
2015	3	2		1											8,000
2016	5	4		1											12,000
合計	678	445	14	77	10	26	1	82	1	8	1	8	4	1	3,014,000

ICT によるコミュニケーション基盤の導入について

広報委員長 皆川 勝（常任幹事）

1. 目的

プライバシーポリシーと個人情報保護法を順守し、東京都市大学校友会会員の情報に関わる会員へのサービス向上を図るため、東京都市大学が校友会会員情報基盤データを管理し、校友会との連携活用を推進する。

2. 導入システム

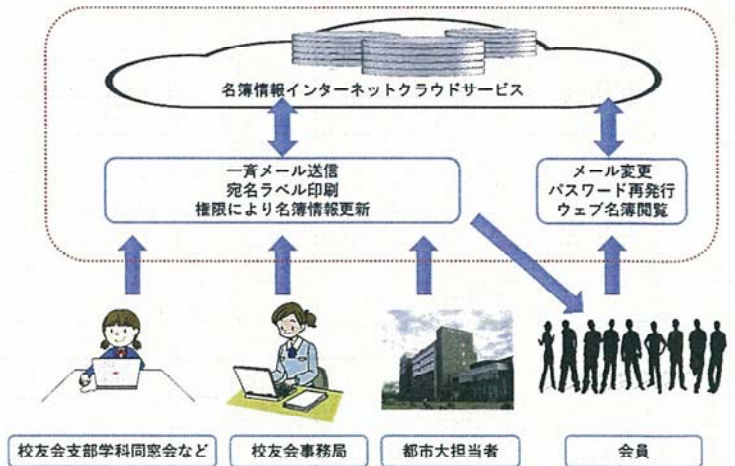
PalSyne（ワンネットシステム㈱提供）

3. 大学と校友会との合意事項

(1) セキュリティの向上、将来像を具現化する可能性を踏まえ、大学が費用負担して大学が名簿システムを管理する。

(2) 名簿データを大学が管理すること、並びに、大学と校友会が連携活用することについて、学長と校友会会長が合意文書を残す。

(3) 必要な機能は、校友会と大学で合意する。会員自らによる名簿データ更新、各種属性での名簿検索、権限付与機能、メール一斉配信機能等が含まれる。



4. 導入システムの主な機能

- 事務局機能：名簿情報管理、宛名ラベル印刷、一斉メール配信、グループ作成・グループ管理者登録、会員データエクスポートなど
- 会員用機能：個人情報の変更確認、パスワード再発行、ウェブ名簿のうち公開情報の閲覧など

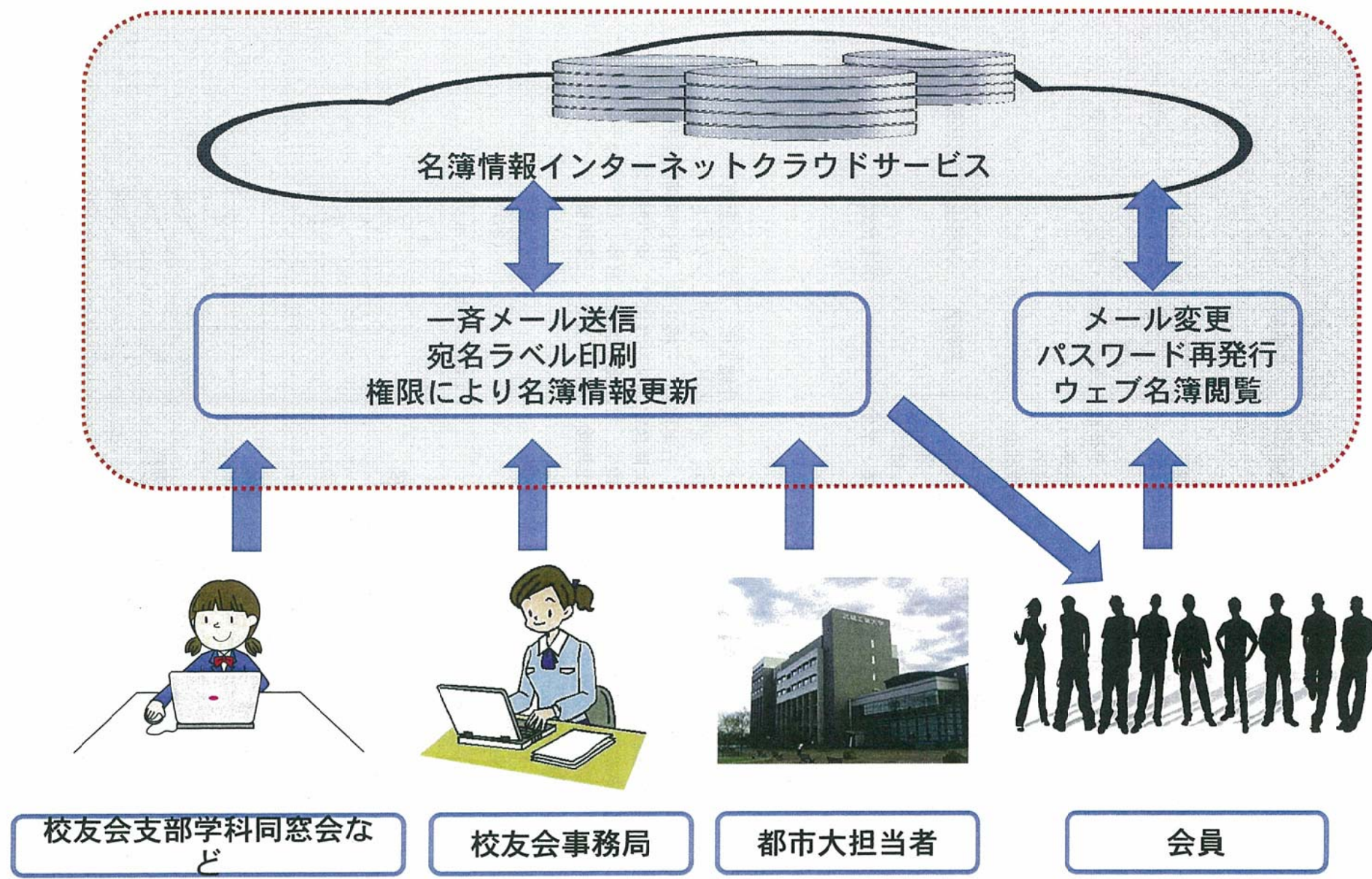
5. 導入のメリット

- 常に最新の名簿を大学、校友会事務局、各支部などが活用できる。
- 会員情報を各会員自ら更新できる。
- エクセルなどでのデータのやり取りが減少し、セキュリティが向上する。
- より安全な環境で会員のコミュニケーションが促進され、各種の取り組みが活性化される。

6. 今後のスケジュール

	平成29年						平成30年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
会員名簿データを大学へ移管	■										
システムへ会員名簿データ登録		■	■	■	■						
事務局による名簿データ運用開始					■	■	■				
会員向けウェブサービス構築							■	■	■		
会員へID及びパスワード通知								■	■		
会員へウェブサービス利用普及促進									■	■	■
会員向けウェブサービス開始											■

以上



「校友会進路相談会」実施結果

<実施日> 平成 29 年 1 月 18 日 (水)

<スケジュール>

13:00~14:30	「進路相談会」全体説明会 (企業・学生)	621 教室
	・校友会長挨拶	
	・実施要領説明	
	・ご出席企業紹介	
14:40~15:10	企業別相談会 ①	各教室 (学生が順次移動)
15:20~15:50	” ②	
16:00~16:30	” ③	
16:40~17:10	” ④	
17:20~19:00	懇親会 (企業・学生)	学生食堂

<参加企業>

35社 67名

IHI 運搬機械、アクティオ、アルパイン、石井鐵工所、いすゞ自動車、ウエットマスター、AGCテクノグラス、オシキリ、オリエンタルモーター、加藤製作所、京三製作所、小糸製作所、五洋建設、三機工業、総合車両製作所、大同特殊鋼、ダイハツ工業、タツノ、太陽誘電、タンガロイ、東洋熱工業、戸田建設、トプコン、日通商事、日東電工、日本海事協会、日本クロージャー、日本郵政、日立化成、日野自動車、富士電機、プレス工業、三菱電機、三菱電機エンジニアリング、森ビル

<参加学生>

(名)

学部・大学院	学科・専攻	1年次	2年次	3年次
工学部	機械工学科			47
	機械システム工学科			2
	電気電子工学科			4
	医用工学科			4
	エネルギー化学科			5
	建築学科			2
知識工学部	経営システム工学科		2	
	学部 計		2	74
大学院 工学研究科 修士課程	機械工学専攻	23		
	機械システム工学専攻	8		
	電気電子工学専攻	1		
	生体医工学専攻	2		
	エネルギー化学専攻	1		
	共同原子力専攻	1		
	大学院 計	37		
	学部・大学院 合計		113	

○功労者表彰

校友会表彰基準第4条(感謝状) 3名

表彰候補者氏名	役員歴	校友会運営に関する功績	表彰基準 摘要条文
イモガワ ヨシノリ 五百川 好則(S42経営)	山形支部 支部長歴 8年 H20.6.28～H28.7.9 副支部長歴 5年 H15～	S63 武蔵工業会山形支部の発足準備時から 支部役員として活躍。 H15から副支部長。 H20から支部長として尽力。 H27美砂会との統合後も指導力を発揮し、 東京都市大学 校友会 山形支部 初代支部長 として山形支部の発展に貢献された。 H28山形支部長を勇退し、現在、支部顧問。	第4条第3項
タナカ コウサク 田中 浩作(S39土木)	兵庫支部 支部長歴 6年 H23.3.26～H29.3.31	H22.12.10兵庫支部設立準備委員会設立主導。 毎年11月の支部総会の定期開催を主導。7回の 総会を開催し、延べ参加人数199名の会員を動員。 会員相互の懇親を図るため、「日帰りバスツアー」を 平成25年より、累計4回のツアーを実施。延べ動員 数97名の会員及び家族の参加。 新美砂会より4名の役員就任を主導し、アクティブな 参加勧誘活動に成功。	第4条第3項
オカダ ヒロシ 岡田 宏(S41生産機械)	徳島支部 支部長歴 18年 H10.10.8～H28.7.31	徳島支部運営について、H10から18年間にわたり 支部長を務められ、夏の総会・年末の忘年会と 昼はゴルフコンペを毎年実施してきました。	第4条第3項

【東京都市大学校友会 表彰基準(抜粋)】

第4条 次の各号のいずれかに該当し、歴代会長・理事長会及び常任幹事会が認めた者に感謝状を贈り謝意を表すことができる。

(1) (2) (4) (5) 略

(3) 支部長として通算6年以上経験をもち、退任した者で、支部発展に尽力した功績により、支部から推薦があり、常任幹事会が認めた者。

○受賞慶祝

「知財功労賞 特許庁長官表彰」

氏名	現職	功績概要
ハットリ ケンイチ 服部 健一(S41機械)	米国特許弁護士	*別紙参照

*知的功労賞については、別紙参照

(敬称略)

平成 29 年度「知財功労賞」について

平成 29 年 4 月 11 日

経済産業省

特許庁

我が国の知的財産権制度の発展等に貢献した個人及び企業等を表彰する「知財功労賞」の平成 29 年度受賞者を決定しました。今年度は、経済産業大臣表彰として個人 2 名と企業等 7 者、特許庁長官表彰として個人 5 名と企業等 4 者を表彰します。

1. 「知財功労賞」の概要

経済産業省 特許庁では、毎年 4 月 18 日「発明の日」(我が国初の特許制度である「専売特許条例」の公布(明治 18 年 4 月 18 日)を記念)に、知的財産権制度の発展及び普及・啓発に貢献のあった個人に対して「知的財産権制度関係功労者表彰」、また、制度を有効に活用し円滑な運営・発展に貢献のあった企業等に対して「知的財産権制度活用優良企業等表彰」として、経済産業大臣表彰及び特許庁長官表彰を行っています。両表彰を合わせて、「知財功労賞」と総称しています。

2. 受賞者

今年度は、経済産業大臣表彰として個人 2 名と企業等 7 者、特許庁長官表彰として個人 5 名と企業等 4 者を表彰します。

平成29年度 知的財産権制度関係功労者表彰

知財功労賞 特許庁長官表彰

(五十音順 敬称略)



ほっ とり けん いち
服 部 健 一

米国特許弁護士 (ウエスタマン・ハットリ・ダニエルズ&
エイドリアンエルエルピー 筆頭パートナー) [アメリカ合衆国バージニア州]

功績概要

- 日米の知的財産権制度に精通した米国特許弁護士の先駆けとして、日本企業の米国内での知的財産権の取得や、パテントロールからの防衛の支援等に尽力。また、特許庁を始め多数の機関で研修講師を歴任したほか、日米の多数の大学において「日米特許法比較」等の講義を行うなど知的財産権に関する日本及び米国の人材の育成に貢献。
- 多年にわたり、内閣官房知的財産事務局や特許庁が行う米国知財制度・運用の調査について、調査団の受入れ等に積極的に協力したほか、米国特許法の改正や新たな判例など米国知財事情を、政府のみならず民間企業等に適時適切に提供するなど知的財産権行政、施策への協力を通じ、知的財産権制度の発展に貢献。